

理科学習指導案(本次案) 5 学年

単元名『流れる水のはたらき』

平成30年8月30日(木) 第2校時

授業会場 理科室

5年西組 男子17名 女子14名 計31名

指導教官

授業者

1 本時の位置 (全3時間扱い中の第1時)

次時: 川を作り流れる水の働きを観察する。

2 本時の主眼

身近な自然の変化に興味を示す子どもたちが、川がどのようにできるか考える場面で、大地にどうしたら川ができるか考えたり、川ができるまでの要因を考えたりして、考えたことを全体で共有することを通して、川の流れの変化に問題を見だし自ら解決したいと思うことができるようになる。

3 指導上の留意点

・川がどのようにできるか興味・関心を持つことができるように、川に関わるクイズや写真を提示する。

4 本時の展開

階	学習活動	予想される児童の反応	欄	指導・援助と評価
導 入	1 クイズを通して、川への関心を高める。	- 世界で一番長い川って何? - アマゾン川? ナイル川? - 日本で一番長い川は知ってるよ。	10	○子どもが比較写真からわかることを話し合うことができるように、ICTを用いて比較写真を提示する。
	2 川に関わる写真を提示し、わかることを話し合う。	- 川の水が濁っているね。 - 水の量が増えているね。 - 川ってどうやってできるんだろう。		「写真を見て気が付いたことわかることはあるかな。」
展	川はどのようにできるのだろう。			
	2 どうしたら川ができるまでの過程がわかるか話し合う。	- さっきの写真はヒントになるんじゃない? - 大地にどうしたら川ができるか考えればいいのか。 - 川ができる原因を考えたらいいのかな。	5	
開	大地にどうしたら川ができるか考えたり、川ができる原因を考えたらよさそう。			
	3 川ができる要因を班で予想する。 【個人(班)追求場面】	- 雨が降らないと川はできないと思うな。 - 水がいっぱい必要だと思う。 - 雨が降って、道ができないと川にならないんじゃないかな。 - 川の道ができるのはなんでだろう。 - 雨で土が流されるからじゃないの? - 川は人工的に作ってる場合もあるんじゃないかな。 - 大雨で氾濫して川ができることもあるのかな。	10	○子どもが予想したことを書き留めることができるように、各班に一枚予想したことを記入する学習用紙を用意する。 「予想を紙に書いてみてね。」 ○子どもが予想を立てることができるように、各班に導入で用いた写真を用意する。
末	4 班で予想したことを全体で共有する。 【全体追求場面】	- 雨が降って水が流れたからだと思う。 - 雨で大地の土が流されたからだと思う。 - 地面から湧いてきた水もあると思うよ。 - 川は人工的に作られてると思うよ。 - 普通の雨だけだと川はできないと思う。災害とか氾濫するぐらいの大雨が必要だと思うよ。	15	○子どもが他の班の予想したことを共有することができるように、各班で予想したことを発表する時間を確保する。
	5 本時の追求を振り返り、次時の見通しを持つ。	- 予想だから、地面に水を流してみればわかると思う。 - 実際に実験してみたい。	5	○子どもが自分たちの予想したことは正しいかわかることができるように、今後の見通しを考える。 「どうしたら予想が合っているかわかるかな。」

評価: 川の流れの変化に問題を見だし自ら解決したいと思っている。

評価方法: 学習カード, 発言から